

活動報告

令和6年1月～6月

末吉の活動は地元の方々や関係各位のご尽力により支えられております



第26回市政報告会（梁田公民館）



関東若手議員の会視察（佐野市クリケット場）



議会運営委員会視察（一宮市）



市指定民俗文化財「御筒粥」に参加



関東若手議員の会視察（笠懸西小学校）

進む未利用施設の活用と処分

実現しました

「旧市民活動センター」が解体されました。老朽化と公共施設適正化のため、2020年3月に生涯学習センター（相生町）に複合化が完了し、未利用となっていました。私自身、一般質問等で「未利用施設の積極的な活用や処分をすべき」と提言をして参りました。特に市街化区域においては、解体後に様々な活用が考えられるため、賃貸や売却を検討することが有効です。同センターも市街化区域にあり、学校等も近く住宅需要も高いことから、「建物解体撤去」「戸建て専用の住宅用地」という条件を付し、入札公告が行われました。そして2023年12月、市内民間企業が**512万円（予定価格210万円）**で落札して現在に至っています。



取り壊された旧市民活動センター

未利用施設を放置すれば廃墟となり、犯罪や火災のリスクを生むだけでなく、市民にマイナスの印象を与えます。今回はそれを民間に売却し、住宅建設と移住促進で、新たな歳入を増やすことに繋がりました。早川市長も未利用施設の有効な活用や処分に積極的です。私も同意見でありますので、有効かつ市民にとってプラスとなる方法を議論、提言し続けたいと思います。

物外軒と白石山房の修繕と活用はじまる

足利市には多くの文化財があり、それらが活用されていない点については長年指摘をしてきました。なかでも市有の物外軒（※1）と白石山房（※2）は老朽化し、活用を考えるうえでは修繕は必須でした。この度、白石山房は令和5年度に保全計画に向けた調査、図面作成が行われました。物外軒も同様の調査を行う予定です。これまで修繕に予算がつかなかった経緯を考えると、大きな一歩だと感じています。活発な活用を耐えうる修繕を行い、本市経済、観光の貴重な戦力となるよう引き続き議論して参ります。



紅葉が美しい物外軒

実現しました

※1…回漕問屋「萬屋」の長四郎三が明治時代に建てた茶室 ※2…田崎草堂の画室で敷地内に草雲美術館もある



日本自治創造学会研究大会（明治大学）



議会報告会・意見交換会



崩れた路肩を補修（福富町）



街頭演説活動

令和5年12月議会 一般質問（令和5年12月12日）

現状を把握して商業地域へ投資を呼び込む

【末吉】商業地域における新規出店・退店数、廃業・開業の差、投資状況など、定期的に観測できるデータはあるか。

【産業観光部長】創業支援機関で支援した創業者数、中心市街地の空き店舗数は把握している。基礎的なデータは必要であるため、その収集について検討していく。

【末吉】市役所や市民会館など大型公共施設の候補地を選定するうえで、投資やエリアの価値向上の可能性をデータで裏打ちすることは重要。長岡市の「アオーレ長岡」のように、整備により市街地が活性化した事例もある。整備候補地選定にあたる判断基準としてどのように考えるか。

【総合政策部長】大型公共施設は周辺への波及効果も期待できる。候補地検討の際はサウンディング調査など、周辺の活性化を含め最大限活用できるよう検討を進める。

＜末吉の主張＞

空き店舗数の推移、補助金を支給したテナントの現状など、更なる基礎データ収集は必須。大型施設や新たな公共空間の整備をチャンスと捉え活性化につなげてほしい。

夜景観光を着実に宿泊へつなげる

【末吉】本市観光の課題は宿泊率の低さ。昨今の夜景観光の推進は効果をあげているが、これを宿泊に結びつけることが必要。関係者や有識者と共に調査・研究をすべき。同時にどの程度宿泊へ流れているのか、実態調査も必要。

【産業観光部長】夜景観光を宿泊客の増加につなげるためには、現状を把握することが肝要と考えている。例えば足利灯り物語の来場者を対象にアンケート調査を実施するなど、足利市観光協会や宿泊施設と連携するとともに、有識者からも助言をいただき取り組んでいる。

観光客約500万人

花火大会、灯り物語、夜景
フラワーパークイルミネーション等

現状 ▼ 理想 ▼

日帰り or 市外で宿泊

市内に宿泊

経済拡大

＜末吉の主張＞

夜景観光を宿泊へつなげる本格的な対策が必要。夜景資源として織姫公園レストラン棟や、渡良瀬川の水辺など開発、連携の余地がある。



▲詳細

令和6年3月議会 一般質問（令和6年3月12日）

夜も稼げる元気な足利に
～ナイトタイムエコノミー～

【末吉】ナイトタイムエコノミー（以後 NTE）とは、夜間帯における個人の消費やそれに伴う雇用の増加といった、経済規模の大きさに注目する概念。本市では行政として、大規模な事業展開は行っておらず伸び代がある。NTE 推進について市長の考えは。

【市長】NTE は地域経済の活性化やまちの魅力創出にも寄与する。民間と行政が意見交換しながら取り組んでいきたい。

【末吉】渋谷区「東京夜市」、富士吉田市「西浦地区活性化事業」などNTE 推進に取り組む自治体が増えてきた。また、（一社）ナイトタイムエコノミー推進協議会のように事業を後押しする団体もある。先進地や支援団体等の研究をしては。

【産業観光部長】足利灯り物語などの磨き上げもしていく。本市に合った取組を研究していきたい。

＜末吉の主張＞

NTE の推進は観光客の宿泊率の低さ、消費額の低さといった本市の重要な課題を解決する有効な手段。かつて織都として栄えた足利にはストーリーもある。

中学校部活の地域移行を変革のチャンスに

【末吉】現在全国的に進められている中学校部活の地域移行には人材、移動、施設、大会ルール、受け皿、財源など複雑な課題が山積している。子どもたちのスポーツ・文化活動を確保するため、推進体制の強化が必要。

【教育長】関係各課が連携を深めて協力し、各種団体や地域、保護者など多くの方々の理解や協力が必要。

【末吉】近隣中学やスポーツクラブなどへの移動手段も重要な視点。自転車で片道1時間かかったり、保護者の送り迎え等の新たな負担が生まれたりするが所見を聞きたい。

【教育長】今後、拠点校制度の検証を行いながら、活動場所や活動時間、移動手段等について検討したい。

＜末吉の主張＞

中学生にとって何が望ましいのかを深く考え、スポーツ、文化活動をアップデートできる貴重な機会となる。

◆「市有文化財」「観光消費」「公共施設と市有地」「足利みらい応援大使」「中心市街地の活性化」等についても質問しました。



▲詳細

▶詳しくはホームページの議事録等をご覧ください